



twitter小説作品  
集【今朝みた夢よ  
り】

---

Kazuyoshi Hinomoto

---

## 猫はニャン

---

飼っていた猫が英語を喋っていた。そして、ドアの方で音がした。開けてみるとけがをした猫がいた。車に轢かれたらしい。猫が言った。「猫はニャンと言って、死ぬのかニャ！」

## twitterのセミナー

---

twitterのセミナーを受けている。生徒は二人しかいない。「今の状況をついートしてみましよう」講師が言う。「twitterのセミナーなう」TLに現れる。もう一つ同じツイート。見慣れたアカウント、顔を見たのは初めてだ！相互フォローしている友人

## リボルバー

---

リボルバーの銃口を標的に向け引き金を絞る。2発！当たった筈だ！・・・でも目覚時計は止まらない！空砲だ！

## 夢の中

---

どこからか、音楽が聞こえる。単調なリズムだか、心地いい！これが夢の中であることは気づいている。この曲はゲーム音楽だ！仕方がない・・・起きるとするか、味気のない現実の中へ

## 昼寝

---

やたらと眠い！少し昼寝をする・・・用事を思い出した！意識は半分眠っている！起きれない！  
ふっと目覚める。朝である。昼寝したことも、用事があることも夢だった・・・ よく見る夢

## 知り合い

---

twitterで知り合いの名前を見つけフォローする。彼のツイートを見る。何だか違和感を感じる。彼  
どういう人か思い出してみる。名前しか思い出せない！フォローを解除する・・・

## 川を渡った

---

ジャングルを案内人と共に歩いていた。やがて川にでた。川を渡った。・・・そこは、草花が咲き乱れる草原だった！ほっとして、案内人に言った。「ジャングルにいる時は三途の川を渡るかと思った！」案内人は答える。「もう渡ったよ、さっきの川がそうさ！」



## アカウントが勝手に

---

私のアカウントが勝手にTLを流れるツイートへ返信しました。それも普段、私が思っても書けない内容だ！仕方なくアカウントを削除する。なぜか残念である！

## 青い筋

---

左手の親指に青い筋があった。見ているとそれが、2本になった。針で掘り出してみると青虫！その青い筋が両手、十本の指に。掘り出しても掘り出しても青い筋は増えていく！やがて・・・気にならなくなり、自分が青虫になっていることに気づく！

## 席替え

---

クラスで席替えがあった。誰もいない空席が1つ。先生が言った。「空いている席は片付けなさい」誰の席だったのか・・・思い出せない！

## ウルトラマンになる夢

---

ウルトラマンになる夢を見た！ 夢の中で子供達が寄ってきた。一人の子供が聞いた。「名前はなに？」「名前？」「ウルトラマン〇〇〇？」・・・答えられない！ 昔は名前などなかった！

## 今年の初夢

---

正月はあっという間に過ぎた！　そう言えば今年の初夢は何だかうなされていて、夢らしい夢ではなかったな！　初夢どころか、今年はまだ夢らしい夢を見ていない。そんなこと考えながら、昨夜は眠る・・・夢魔が現れて言う「今後、お前の見る夢はすべて悪夢だ！」

## 携帯が鳴っていた

---

娘が行方不明になった！その後、警察が来て娘が誘拐された可能性があると言う！・・・暫く時間が経った！携帯に着信音が鳴る！犯人からか・・・と、ここで目が覚める。携帯が鳴っていた

## ガンダムに似たロボット

---

都市機能が麻痺したかと思うと、空から何かが舞い降りてくる。ガンダムに似たロボット。ロボットは人々に向けて機銃掃射を始める。逃げ惑う人々！

## 女の人の歌声

---

夢の中で女の人の歌声が聞こえる！そう言えば、ここ何日かこの声を聞いている気がする・・・  
目覚める！でも歌声はまだ続いている！・・・え！歌声は私の口から出ている。鏡を見ると見知らぬ女がそこにいる！



## 夢のコメント

---

夢を見ている。その夢にはコメントが流れている！目が覚める！夢とコメントは一瞬で消える！夢の内容は覚えていない。大した内容では無かったのだろう。目を閉じる！再びコメントが流れ始める！「画面が見えない！」「運営何してる！」・・・

## Twitter大使

---

Twitter大使に選ばれた！就任のスピーチをする。「今後、Twitterは・・・」野次が飛ぶ「140文字以内にまとめろ！」

## 日本国営食堂

---

飲食店の営業が禁止され唯一『日本国営食堂』のみ営業を許された。メニューは日替の数種類、残したら罰金。俺は食いたくないのでコンビニで弁当を買っている。ある日コンビニへ行くといつもと違う弁当が並んでいた。製造元を確認すると『日本国営フーズ』

## 砂漠に押し寄せる津波

---

砂漠に押し寄せる津波！ただ砂だけを押し流していく。気の遠くなる時を経て砂漠の砂は海辺にたどり着く

## いびき

---

「ガーガー、ゲーゲー」どこからかいびきが聞こえる！そんなに大きな音ではないが気になって仕方ない。「うるさい！」と私は叫ぶ！と、その瞬間に目が覚めた！ 自分のいびきが聞こえる時、ありますよね？